

台風・豪雨時に備えて ハザードマップと一緒に避難行動を確認！

平時に
確認

市では、地震ハザードマップと洪水ハザードマップを作成しています。市内公共施設で配布している他、市公式ウェブサイトにも掲載しています。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう**

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印を付けてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分である場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全を確保すること）も可能です。

さらに詳しくは、右のQRコードから解説がご覧になれます。



▲避難行動判定フローの解説

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4 避難指示が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4 避難指示が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

指定緊急避難場所と指定避難所、避難経路の確認を

市では、34カ所の指定緊急避難場所と28カ所の指定避難所を指定しています。

もしもの時のために、事前に避難経路と合わせて確認しておきましょう。

また、3密を避けるため、親戚や知人宅等も避難先として事前に検討しておきましょう。



▲指定緊急避難場所・指定避難場所一覧

問合せ 防災対策課（4階） ☎(36)7580 📠(20)1602